

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No.4)

平成25年6月25日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6月下旬現在、ニセナシサビダニの発生量は平年よりやや少ない。

2. 情報の根拠

(1) 6月下旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの葉あたり個体数は503.4頭(平年: 1,215.0頭)で、平年よりやや少ない発生量となっている(表1)。

表1 ニセナシサビダニの発生活消長(園芸試験場)

月・旬	本年	平年
5・上	1.4	0.4
5・中	0	16.3
5・下	7.4	90.5
6・上	442.4	399.3
6・中	2,494.8	761.3
6・下	503.4	1,215.0

注) 殺ダニ剤無散布ほ場, 1葉あたり寄生個体数(3樹10葉調査)

3. 防除上注意すべき事項

(1) 県予察ほ場では6月中旬までに発生密度が急増し、ニセナシサビダニが寄生している新梢葉の硬化等により(餌条件の悪化)6月下旬の発生密度が低下したものと推察される。このことから、新梢が伸長する場合は、今後も密度の増加が予想される。

(2) 新梢の停止期が遅く、ニセナシサビダニの被害が増加するような場合は、追加防除を行う。

(参考) 防除区*におけるニセナシサビダニの発生活消長

*防除区 : 5月24日、6月14日にハチハチフロアブル2,000倍液を散布

防除区 : 3月15日にハーベストオイル50倍液、5月24日、6月14日にハチハチフロアブル2,000倍液を散布

表 ニセナシサビダニの発生活消長(園芸試験場)

月・旬	無散布区	防除区	防除区
5・上	1.4	0.2	0
5・中	0	0.4	0
5・下	7.4	1.0	0
6・上	442.4	1.0	0.2
6・中	2,494.8	33.4	0
6・下	503.4	3.6	0.4

注) 1葉あたり寄生個体数

要約 : 6月24日現在、防除区におけるニセナシサビダニの発生密度は低い。